



# 出水高校だより

第四十六号 令和四年九月七日

## 伝統を受け継ぐ



下脇隼人さん

八月二十八日(日)、阿久根市の波留南方神社にて、県指定無形民俗文化財である「神舞」が奉納されました。コロナの影響で、前回から実に十年ぶりの奉納となりました。出水高校の下脇隼人さん(阿久根中出身)も踊手として参加しました。今回は下脇さんに、神舞への思いを聴きました。

—— 神舞とはどういうものか教えてください。

(下脇) 日本神話のなかに、天照大神という神様が、弟の行動に腹を立て、天の岩戸に引きこもったという

エピソードがあるらしいのです。神舞には、その天照大神に岩戸から出ていただくこと、神々がいろいろ工夫を凝らす場面が盛り込まれています。

—— 下脇さんはどういう役を演じたのですか。



「鬼神舞」鬼神がクライマックスに登場する

(下脇) 僕が演じたのは「どけ」という役です。天照大神の興味を引くため、仰向けになって足を高く上げる動作を何度も繰り返します。

—— お疲れ様でした。

では神舞への思いを聞かせてください。

(下脇) 神舞は本来八年に一回しか奉納されません。地域の皆さんが大切にしている貴重な伝統芸能です。僕は阿久根が大好きなので、これからも阿久根を盛り立てていきたいです。次回奉納される際にも、踊手として出演するつもりです。

—— 下脇さん、ありがとうございました。八年後も楽しみにしています。

足を高く上げて踊る下脇さん



「将軍舞」滑稽な踊りで天照大神の興味を引こうとする

学校生活のようすは、公式インスタグラムで、アカウントは izumi\_highschool